

後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌

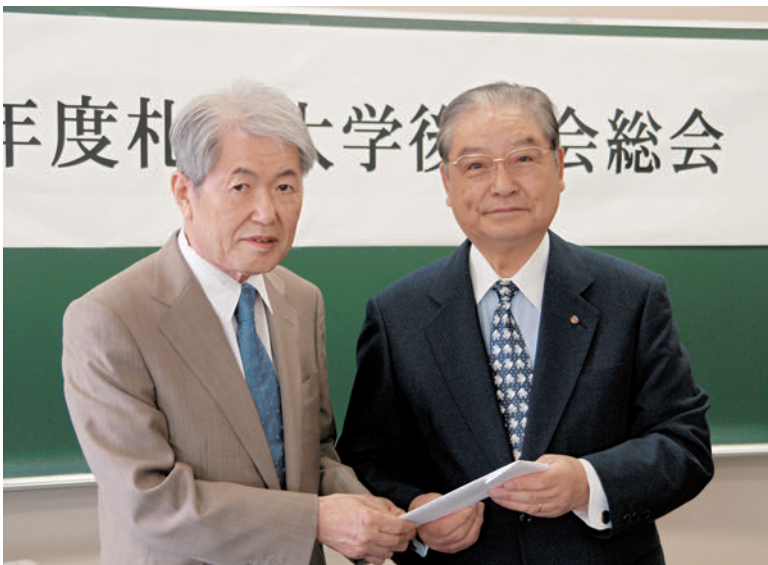
Vol.39

発行／札幌大学後援会事務局 発行日／2012年10月30日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) <http://blg.sapporo-u.ac.jp/koenkai>

平成24年度札幌大学後援会総会及び保護者懇談会

保護者と大学を結ぶ後援会最大のイベント!!!
平成24年度 札幌大学後援会総会と保護者懇談会をレポート!

札幌大学後援会において最大のイベントがこの「総会」と札幌大学と共催の「保護者懇談会」にほかなりません。平成24年度は去る5月26日(土曜日)に開催されました。各種事業報告や事業計画が発表された後、引き続き保護者懇談会が開かれ、活発な意見交換が行われました。充実した内容となった当日の様子をレポートしました。



援助金贈呈式(桑原学長・土谷副会長)

札幌大学後援会総会

日時／平成24年5月26日(土) 午前11時
会場／札幌大学2204教室

「事業報告から審議事項へ、全ての承認を得ました」

総会は定刻通り11時にスタート。対馬徳昭会長が出張のため出席できず、副会長の土谷亨氏が議事進行を務めました。まず平成23年度の事業報告。会費の納入状況と、それを活用した補助事業などを報告し、その活動は満場一致で承認されました。次に平成23年度の収支決算報告書を提示し、後援会の資金運用の健全性が三ッ木芳夫監事から報告されました。

議事は活動報告から審議事項へ移り、最初に平成24

年度事業計画について説明、提案を行いました。内容は従来通り、学生の課外活動や学外研修のほか、資格取得や受験対策への資金援助、さらに外国人留学生への援助といった各種補助事業の継続です。また、大学との共催で行っている「保護者懇談会」の開催計画等、24年度事業計画案について全会一致で承認されました。次に、今年度役員改選についても全員の再任が承認されました。終わりに保護者の皆さまと役員との間で活発な質疑応答があり、日頃から感じられていた疑問点を解消。有意義な総会となりました。

「援助金贈呈後、大学からの感謝の言葉が」

総会に続いて大学への援助金贈呈式が行われ、総会で承認を得た事業計画を基に、後援会から大学へ手厚い援助金が贈呈されました。大学側から多くの役員が出席し、代表として桑原真人学長が目録を受け取りました。桑原学長から「本学は今年創立45周年。50周年に向け、今後とも後援会さまと一体となって、ご子女の健全な育成と、大学のますますの発展を目指していきたい。ありがとうございます」と謝辞が述べられました。締めくくりに出席者全員の大きな拍手。その力強い響きは「保護者の皆さまからの期待の大きさ」と心を引き締め、後援会は今年度の活動をスタートします。



平成24年度総会



保護者の皆様との活発な議論

札幌大学保護者懇談会

日時／平成24年5月26日(土) 午後1時
会場／札幌大学ブリアホールほか

「保護者懇談会」は、毎年多くの保護者の皆さまにご出席いただき、今年も後援会総会と同日の午後、開催の運びとなりました。保護者の皆さまの関心事は、やはり学業と就職について。そのため、ご出席された方の方々とどが3、4年生のご子女をもつ保護者の方々でした。毎年、卒業・就職に対する関心の強さが伺われます。桑原真人学長の挨拶に続き、後援会の対馬会長に代わって、土谷副会長の挨拶で懇談会がスタートしました。大学の近況報告や卒業生による母校の紹介に続いて、早速「就職状況の説明や対策について」の解説が就職部長から提言されました。厳しさの増す社会・経済情勢に伴う就職状況の悪化は、求人数の減少という結果を招いており、これに対する本学の真剣な対策が報告されました。全体説明の後、会場を移して学部ごとの説明会へ。さらに保護者と担当教員が直接情報交換と意見交換を行う個別懇談が行われ、ご子女の学業、卒業、



懇談会でのDVD放映

保護者懇談会へ参加して

- 全体説明の内容について
 - OBのお話が大変参考になりました。また、大学が就職活動に親身に対応して下さる様子もよくわかりました。あとは、本人のやる気です。
 - 卒業生の野中さんのお話が、わかり易く内容もとてもよかったです。
- 保護者懇談会または本学について
 - 入学式も卒業式も学外で行われるので、大学に来る機会がほとんどありませんでした。来春卒業予定ですので、最後の機会と思い、懇談会に出席させていただき、学内見学も参加しました。立派な施設設備で学生たちは幸せだと思いました。いろいろと活用して学生生活を送ってほしいと思います。
- 個別懇談での説明・対応について
 - 先生に大変丁寧に対応していただき、ありがとうございました。
 - 1年生です。今後のことも含めて、お話を聞くことができて、本日来校して良かったです。

就職に関する細かな今後の支援と指導方法が確認されました。
好評につき、保護者懇談会は今後も道内各地はもちろん、東北地方も引き続き開催を予定しており、大学と保護者を結ぶ橋渡しとして、後援会はその役割と責任を果たしていく所存です。

文化系サークル援助金交付式

日時／平成24年6月26日(火)
会場／第一会議室

札幌大学では体育会系サークルのほか、多種多様な文化系サークルが充実した活動を展開しています。後援会では、そうした文化系サークルへの支援も行っており、申請のあった団体に対し、毎年補助金を交付しています。今年度は、ジャズ研究会、法律研究会「優法会」、書道部、美術部、アビロード音楽研究部、写真部、アマチュア無線部、民族音楽研究部、劇団ダイナマイトの9つの団体に補助金を贈呈しました。

補助金交付式は6月26日に行われ、まず、対馬会長に代わって土谷副会長から「文化系サークルの一層の活躍を期待します」と挨拶があり、これを受けて、後藤善久学生部長から「多大なるご支援に感謝申し上げますとともに、期待にこたえる活動をとお約束します」と



平成24年度 文化系サークル援助金交付式

謝辞が述べられました。続いて各サークルの代表に目録が手渡され、学生は神妙な面持ちで受け取っていました。最後に出席者全員で記念撮影を行い、会はつがなく終了しました。後援会では今後も文化系サークルへの手厚いバックアップを行っていく方針です。

CONTENTS

- 札幌大学後援会総会・保護者懇談会・・・1面
文化系サークル援助金交付式
課外活動報告(柔道部・美術部)……………2面
札幌大学創立45周年記念講演会 ドナルド・キーン氏…3面
就職状況・卒業生インタビュー
平成23年度事業活動及び平成24年度事業計画・4面

札大柔道部が 12年ぶりに全道制覇！

春の北海道学生柔道優勝大会に続き、
秋の体重別団体優勝大会でも優勝！

伝統ある札幌大学柔道部が「北海道学生柔道優勝大会」および、「北海道学生柔道体重別団体優勝大会」において、12年ぶりの優勝という快挙を成し遂げました。今回の勝因について、監督と部を代表する3選手にお話を伺いました。

優勝は周囲の支え、柔道を通じて人間的成長を！

毎年、道内各大学の柔道部で覇を競い合う「北海道学生柔道優勝大会」が6月に開催され、それに引き続き9月には「北海道学生柔道体重別団体優勝大会」が開催されました。この両大会において、我が札大柔道部は12年ぶりの優勝という栄冠を手に入れました。まさに名門復活というところでしょうか。監督に就任して20年が経ちましたが、私も学生時代に出場し優勝した大会ですので、感慨もひとしおです。

今回、優勝に輝いた背景には、本学がスポーツ特待制度を導入し、昨年に続いて今年も多く有望な新入生を迎え入れたことが大きな要因となっています。実力を備えた有望な新入生が上



札幌大学柔道部
監督 河合 一丸 さん



大阪体育大学との合宿

級生を刺激し、お互いに切磋琢磨してきたことが実力アップにつながりました。また、大会前には北海道警察との合宿に参加し、総勢50人が一人も欠けることなく全日程を乗り切りきったことも、大きな勝因ですね。

今年は試合前に、「我々は負けて失うものはない。今ある力を全部出そう」と発破をかけました。その結果、6月の大会で12年振りの優勝という栄冠を勝ち取ることができたわけです。9月の体重別団体戦は、その勢いにつけて手にした勝利と言えるでしょう。

優勝の背景には、保護者の皆さま、および後援会さまの強力なバックアップがあることを胸に刻んでいます。北海道代表として全国大会にも出場しましたが、遠征費用を後援会さまより援助していただきました。学生にも「保護者や教員など、周囲の支援に感謝を忘れず、練習に励んでほしい」と日頃から伝えていきます。私が指導方針の最



選手が語る柔道部と12年ぶりの優勝！

勝因はメリハリの効いた練習とチームワーク

Q 皆さんが札大柔道部を選んだ理由は何ですか？

宮本 「父親が柔道をやっており、札大のOBでしたので、3歳から柔道を始めました。札大に入学したのも父の勧めです」。



釧路白糠高校出身
二段／100キロ超級
文化学部文化学科2年生
宮本 孝介 さん

横濱 「複数の大学からスカウトされていたんですが、札大柔道部は練習環境が整備されていて、これなら強くなれると思います、入学を決めました」。



青森北高校出身
二段／100キロ超級
法学部法学科2年生
横濱 貴大 さん

坂本 「自分は東日本大震災で被災し、その後大学進学に関して、さまざまな減免制度が施行されました。その制度を利用して、柔道の盛んな大学を探していたところ、監督に声を掛けられ、札大への進学を決めました」。

Q 優勝を果たした大きな勝因はなんだと思いますか？

宮本 「札大柔道部の特徴はチームワーク。練習は厳しいものですが、それ以外では上級生や下級生の隔てなく、仲良く楽しくやっています。部活動にメリハリが効いており、それが試合で良い結果をもたらしたと思います。また、道警の先輩方や本州の大学などが合宿に訪れ、合同練習を積んできたことも大きな勝因になっていると思います」。

横濱 「12年ぶりに結果が出ましたが、札大柔道部はいつでも優勝できる実力があつたと思います。今後も打ち込みを中心に乱取りなど、自分たちの得意な型を確立していきたいですね」。

Q 新入生から見て、札大柔道部の雰囲気はどうですか？

坂本 「部活はもちろん、学部が同じだと講義も一緒。自分は一人暮らししているんですが、住んでいるアパートには部の先輩が何人か住んでいるんです。生活のほとんどを一緒に過ごして



岩手盛岡大学附属高校出身
二段／81キロ級
法学部法学科1年生
坂本 大地 さん

おり、公私にわたって仲良くしてもらっています」。

Q 皆さん立派な体格していますが、食事はどれ位召し上がるんですか？

宮本 「体重を増やすために、いっぱい食べる飯トレというのがありますが、自分はお米だと一升食べますよ。柔道部員5人で2升2合食べたこともあります。焼き肉では一人10人前。外食に行くと、頼み方が取りあえず30人前とか注文していますよ。食べる量が半端でないのが、普通の店ではなく、食べ放題に行くことが多いですね」。

坂本 「自分は81キロ級ですが、今76キロしかないの、まさに飯トレをやっています」。(笑)

Q 好きな女性タレントとか、アイドルはいますか？

横濱 「あつ、こいつはいますね」。

坂本 「違いますよ。先輩にテレビに

美術部

来年3月の合同作品展に向けて、
創作活動を展開中！



札幌大学美術部 部長
経済学部経済学科3年生 高原 亜由実 さん

札幌美術部は現在15人。部長の高原さん以外は、入学後に本格的に絵を描き出したそうです。「ですから、画材やテーマも、各自思い思いのやり方で創作活動を行っています。ほとんどの部員が美術初心者ですが、好きな画材や得意の分野など、さまざまな可能性を模索しているところ」です。そんな部員たちですが、学内向けには6月の文連祭における作品発表、10月の大学祭での作品展示と大学祭のメイン看板制作をしています。この看板は毎年、実行委員会からの依頼を受けて制作しており、評判も上々とのこと。

アイドルが出ていた時に一緒に盛り上げられと強要されて、応援しただけですよ」。(全員爆笑)

Q 今後の目標を聞かせてください。

宮本 「優勝した道内大会の連覇ですね。1年で王座を明け渡すわけにはいかないので、練習はこれまで以上に厳しくなると思います。全国大会でも上位を狙っていきたいですね」。

横濱 「春、秋と優勝できたので、今後の目標は来年以降の連覇。全国でもベスト8以上が目標ですが、少しでも上位に食い込めるように頑張ります」。

坂本 「自分は新入生として、諸先輩が築き上げてきた柔道部の伝統を引き継ぎ守っていくことが目標です。個人的には1回でも多く全道大会制覇を目指していきたいですね。今、自分は体重アップを図っており、通常の練習に加え、飯トレにも励みます」。(全員大爆笑)



大学祭の看板制作中

一方、学外では11月に近所の喫茶店のギャラリースペースで、作品発表会を開催。また、毎年3月に開催している書道部との「合同作品展」があり、現在部員は鋭意創作中です。会場は札幌市内中心部、狸小路にあるビルの一室。「その費用は毎年後援会からいただく交付金を利用しています。部費が心細くなってくる時期なので、後援会のバックアップは大変ありがたく、感謝しています」と高原さんは部を代表して言います。今後の夢は各種コンクールへの出品。地味なイメージのある美術部ですが、後援会など、期待と支援を寄せてくださる方々のためにも、チャレンジを続けていきたいと今後の活躍を誓っていました。

平成23年度事業活動及び平成24年度事業計画

平成23年度事業活動

(1) 補助事業		
①課外活動への補助		
単位：円		
交付団体名	大会名	支出金額
サッカー部	第47回全国社会人サッカー選手権大会	92,400
	第9回全日本大学サッカーフェスティバル	107,100
	第60回全日本大学サッカー選手権大会	107,100
男子バレーボール部	第64回秋父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会	92,400
	第30回東日本バレーボール大学選手権大会	109,200
女子バレーボール部	第64回秋父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会	58,800
男子バスケットボール部	第63回全日本大学バスケットボール選手権大会	243,600
	第63回全日本大学バスケットボール選手権大会	210,000
女子バスケットボール部	第78回皇后杯全日本総合学生バスケットボール選手権大会	126,000
	第81回全日本大学総合卓球選手権大会	44,100
卓球部	第78回全日本大学総合卓球選手権大会	16,800
弓道部	第59回全日本学生弓道選手権大会	37,800
	第59回全日本学生剣道優勝大会	69,300
剣道部	第59回全日本学生剣道選手権大会	42,000
	全日本学生柔道優勝大会	109,200
柔道部	全日本学生柔道体重別選手権大会	63,000
	全日本学生柔道体重別団体優勝大会	94,500
少林寺拳法部	第45回少林寺拳法全日本学生大会	56,700
チアリーディング部	第23回全日本チアリーディング選手権大会	50,400
準硬式野球部	第29回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	73,500
スキー部	第85回全日本学生スキー選手権大会	21,000
陸上競技部	第80回日本学生陸上競技対抗選手権	12,600
吹奏楽団	第59回全日本吹奏楽コンクール	189,000
札大キャンパス応援隊	東日本大震災盛岡市被災地支援ボランティア	352,800
女子羽球部	全日本学生バドミントン選手権大会	50,400
スケート部	第12回大学アイスホッケー交流戦	241,500
	東北・北海道フィギュアスケート選手権	18,900
	第5回東日本学生フィギュアスケート選手権	18,900
	第84回日本学生氷上競技会選手権大会	163,800
	第37回東日本学生フィギュアスケート選手権	31,500
18団体	小 計	2,904,300
課外活動への補助金合計 3,154,300円		
交付団体名	文化系サークルの活動内容	支出金額
ファニーカンパニー	ライブハウスでのライブ活動	50,000
アビロード音楽研究会	ライブハウスでの定期演奏会	50,000
アマチュア無線部	苫小牧・洞爺湖町民と無線を交信し技術向上を図る	50,000
民俗音楽研究部	12月の定期演奏会に向けて活動	50,000
写真部	道内風景写真撮影	50,000
5団体	小 計	250,000

②札幌大学奨学金への援助	10,000,000円
③札幌大学学外研修援助金	3,000,000円
④札幌大学資格取得等奨励援助金	5,000,000円
⑤外国人留学生への援助	5,500,000円
⑥札幌大学大学祭への補助金	50,000円
⑦卒業祝賀会への補助金	50,000円
⑧札幌大学保護者懇談会に係る旅費への補助金	1,488,520円
⑨札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブへの補助金	500,000円
補助費支出合計	28,742,820円

(2) 札幌大学保護者懇談会

開催地	開催日	参加人数
札 幌（札幌大学）	5月28日（土）	202
札 幌（札幌大学）	9月17日（土）	153
釧 路（釧路東急イン）	9月10日（土）	22
青 森（ホテル青森）	9月10日（土）	8
帯 広（帯広東急イン）	9月11日（日）	26
函 館（函館国際ホテル）	9月11日（日）	27
北 見（ビッツアークホテル）	10月 1日（土）	22
苫小牧（グラントホテルニュー王子）	10月 2日（日）	7
旭 川（ロワジールホテル旭川）	10月 2日（日）	21
合 計		488



校内風景（図書館前庭）

(3) 広報活動

「後援会だより」を10月30日、3月30日付けの年2回発行

(4) 札幌大学後援会総会

日時：平成23年5月28日（土）
場所：札幌大学 2204教室

(5) 札幌大学後援会役員会

〈第1回〉
日時：平成23年4月26日（火）
場所：札幌大学 第1会議室
〈第2回〉
日時：平成23年5月28日（土）
場所：札幌大学 第1会議室



構内風景（中央棟前）

札幌大学後援会役員〔平成24年度改選〕

役 職	氏 名	担 当	役 職	氏 名	担 当
会 長	対 馬 徳 昭		運営委員	酒 井 春 樹	事業
副会長	土 谷 享	財務		寒河江 正 人	事業
	福 井 敬 悟	広報		野 橋 孝 実	事業
	日 浦 和 長	事業		宮 本 みどり	広報
	下 澤 敏 也	広報		太 細 博 文	事業
	北 崎 義 弘	広報		上 野 洋 子	広報
監 事	佐々木 忠 則				
	三ツ木 芳 夫				

平成23年度決算書

平成23年度収支計算書（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）				単位：円
科 目	予 算	決 算 額	増 ・ 減	
収入の部				
前年度繰越金	50,288,978	50,288,978	0	
第一種会員会費	40,000,000	40,080,000	80,000	
第二種会員会費	150,000	280,000	130,000	
第三種会員会費	0	0	0	
利息	20,000	16,299	△ 3,701	
前期末前受金（△）	0	△ 3,000	△ 3,000	
基金取崩収入	0	0	0	
合 計	90,458,978	90,662,277	203,299	
支出の部				
基金充当金	0	0	0	
補助費	31,200,000	28,742,820	△ 2,457,180	
消耗品費	70,000	39,239	△ 30,761	
旅費交通費	450,000	315,930	△ 134,070	
印刷費	1,170,000	883,785	△ 286,215	
通信費	1,287,000	1,034,973	△ 252,027	
支払手数料	50,000	12,913	△ 37,087	
会議渉外費	2,170,000	1,714,384	△ 455,616	
予備費	200,000	0	△ 200,000	
合 計	36,597,000	32,744,044	△ 3,852,956	
当年度収支差額（次年度繰越金）	53,861,978	57,918,233		
合 計	90,458,978	90,662,277	203,299	

平成23年度資産（現預金）・基金内訳表（平成24年3月31日現在）

勘定科目	前年度繰越金	3月末	増 減
《資産の部》			
現金（事務室保管）	41,385	24,327	△ 17,058
普通預金（北海道銀行西岡）	34,763,607	42,255,676	7,492,069
普通預金（北洋銀行豊平）	15,483,986	15,638,230	154,244
基金（北海道銀行西岡）	26,000,000	26,000,000	0
基金（北洋銀行澁川）	20,000,000	20,000,000	0
資産合計	96,288,978	103,918,233	7,629,255
《基金の部》			
基金（北海道銀行西岡）	26,000,000	26,000,000	0
基金（北洋銀行澁川）	20,000,000	20,000,000	0
収支差額（次年度繰越金）	50,288,978	57,918,233	7,629,255
基金合計	96,288,978	103,918,233	7,629,255

平成24年度事業計画

札幌大学後援会では、在学生を支援の主たる対象とし、各種支援事業を平成24年度も継続してまいります。主な事業計画は次のとおりです。
①後援会総会の開催（後援会活動活性化の観点から保護者懇談会【5月の札幌大学での開催】との同日開催）、②札幌大学との共催による保護者懇談会の開催（会議費、旅費交通費等の運営経費を補助）、③学生への経済的支援（1）課外活動への援助金（全国大会及びこれに準ずる大会等へ参加する部員への遠征費補助、文化系サークルの活動費を補助）、（2）学外研修への援助金（国内外の宿泊研修、臨地研修等への参加費を補助）、（3）資格取得・受験対策への援助金（能力開発センター開講講座の資格取得者への援助金、正課授業に係る資格の受験者への援助金）、（4）外国人留学生への援助金（学習奨励金を補助）、（5）札幌大学奨学金制度への援助金（成績優秀者に対する奨学金資金の援助、また平成23年度からは経済的困窮度を重視した生活支援奨学金の援助）、（6）地域貢献活動への援助金（めえーずの活動資金を補助）、（7）広報活動（『後援会だより』の発行）

平成24年度収支予算

収入の部				単位：円
科 目	平成23年度決算	平成24年度予算額	増減額(決算額比)	摘 要
前年度繰越金	50,288,978	57,918,233	7,629,255	
第1種会員会費	40,080,000	37,000,000	△ 3,080,000	10,000円×3,700人=37,000,000
第2種会員会費	280,000	180,000	△ 100,000	3,000円×60口
第3種会員会費	0	0	0	
受取利息	16,299	20,000	3,701	
前期末前受金(△)	△ 3,000			
合 計	90,662,277	95,118,233	4,452,956	

支出の部				単位：円
科 目	平成23年度決算	平成24年度予算額	増減額(決算額比)	摘 要
補助費	28,742,820	30,800,000	2,057,180	札幌大学奨学金援助金
				課外活動補助金・卒業祝賀会・大学祭
				新入生学生奨励費
				学外研修援助金・資格取得等奨励援助金
				表彰
消耗品費	39,239	70,000	30,761	保護者懇談会（大学分旅費）
				地域貢献費（NPO法人札幌大学スポーツ・文化総合型クラブ）
旅費交通費	315,930	450,000	134,070	事務用消耗品
印刷費	883,785	1,070,000	186,215	コピー用紙
				役員会、保護者懇談会
				封筒
				各種案内状
				会報作成
通信費	1,034,973	1,217,000	182,027	振込用紙印字他
				その他印刷
支払手数料	12,913	50,000	37,087	後援会だより発送作業。発送費2回分、会費納入案内
会議渉外費	1,714,384	2,020,000	305,616	役員会、総会案内・保護者懇談会等の案内他
予備費	0	200,000	200,000	会費納入振込手数料・業者への振込手数料
小 計	32,744,044	35,877,000	3,132,956	役員会会議費、総会・札幌会場保護者懇談会参加者昼食費、地方会場費
次年度繰越金	57,918,233	59,241,233		祝儀等
合 計	90,662,277	95,118,233		

編集後記

北海道らしくない灼熱の夏が過ぎ、紅葉の彩る季節です。後援会だよりはまだまだ熱く、より良い内容をお届けしたく頑張っています。後援会総会・保護者懇談会・23年度決算報告・24年度事業計画等、毎年恒例の記事。他に課外活動報告では柔道部の取材中に、他大学の猛者の方々と合同練習に出会い、迫力に圧倒されながらも、なんとか撮影することもできました。また、文化系サークルでは美術部の活動と、部員の皆さんの抱負をお伝えします。そして、札幌大学文化学部主催のドナルド・キーン氏の講演の聴講です。講演内容等については、各新聞等で報道されましたが、本学でこのような、著名な方の講演を聴講できたことに感動し、誇りに思いました。今回から、継続を予定しています卒業生インタビューでは、保護者の皆様が常に気に留めておられる就職関係をにも精通している職員のインタビューを試みました。きっと皆様の参考にしていただけることと思います。